

5.歴史・文化に関する施策

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	歴史・文化
基本方針	文化財の保存と活用		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	5-01-①	施策名	文化財の保存の推進	

施策の概要

貴重な歴史資産を次世代へ守り伝えるため、文化財調査を推進するとともに、国指定史跡の保存整備や文化財指定の推進、伝承者への支援など、積極的に保存・継承を進めます。

成果指標(単位)	文化財指定件数(件)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	95	95	96	96
実績値	94	96			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度には有形文化財(彫刻2件)について市の指定文化財を追加することができ、市にとって新たに貴重な歴史資産を守り・活用し、次世代へと継承する基盤とすることができた。今後も継続して、市内の歴史資産の実態を解明し、その成果の公開と活用を進めていく。

施策の達成度評価

発掘調査の需要は多いものの、滞りなく調査事業を実施し、遺跡の実態を適正に記録保存することができた。また、本市を代表する歴史資産である史跡草津宿本陣と史跡芦浦観音寺跡の整備を計画的に進捗できた。このほか、所有者や保存会等が行う指定文化財の日常管理や修理・民俗文化財継承のための保護助成などを通じ、文化財の保存のための取り組みを推進することができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標「No.46 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」の偏差値は80.0と数値が高く、「次世代を担うこども・若者へ、より良き環境・文化を残していきたい」との市民意識が高いことを示している。このことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、本施策「文化財の保存と活用」の目的は、大きく重なり合う因子要素であることから、今後も、市民にとって大切な歴史資産を後世へと引き継げる事業の展開を図っていきたい。

評価に基づいた令和9年度の実施についての考え方

史跡整備については、関係者と調整を図りながら、計画的に実施していく必要がある。また、今後も市内一円の開発事業等に伴う発掘調査の需要は続くことが想定され、適正な調査事業を継続していくよう努める。貴重な文化財を次世代に守り伝えていくため、文化財の指定や所有者等への支援についても、これまで同様、関係機関と連携しながら取り組んでいく。

令和9年度の実施は、高い水準にある地域幸福度(Well-Being)指標「No.46 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」の偏差値・実数値が上昇につながるよう、市民(個人・各種団体・地域など)が、自らの身近にある「歴史的資産」の魅力やその大切さを感じられるよう「文化財の保存と活用に係る事業(調査・史跡整備・保護助成事業など)」の事業を実践していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
埋蔵文化財発掘調査事業	歴史文化財課	○	試掘、本発掘調査ともに計画どおり実施した結果、遺跡の実態を適切に記録保存することができたため。
宅地開発等関連遺跡発掘調査事業	歴史文化財課	○	開発等に伴う発掘調査や整理業務を計画どおり進めた結果、遺跡の実態を適切に記録保存することができたため。
史跡草津宿本陣整備事業	歴史文化財課	○	「史跡草津宿本陣整備基本計画」に基づき「保存整備事業」について、予算および事業計画どおり事業を実施した結果、史跡整備の進捗を図ることができたため。
史跡芦浦観音寺跡整備事業	歴史文化財課	○	「史跡芦浦観音寺跡整備基本計画」に基づき「保存整備事業」について予算および事業計画どおりの事業を実施した結果、史跡整備の進捗を図ることができたため。
文化財保護助成事業	歴史文化財課	○	指定文化財の所有者・保存会に対し適正に保護助成を行った結果、文化財の保存管理、育成、活用を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
文化財保護推進事業	歴史文化財課
未指定文化財調査事業	歴史文化財課
史跡野路小野山製鉄遺跡整備事業	歴史文化財課
文化財保護審議会運営事業	歴史文化財課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
46	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	実数	4.1	4.1			
		偏差値	80.0	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考
客観指標No. (令和7年度)										

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち		分野	歴史・文化
基本方針	文化財の保存と活用		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	5-01-②	施策名	歴史文化の活用の推進	

施策の概要
文化財を生かしたまちづくりを推進し、市民のふるさと意識を高めるため、「草津市文化財保存活用地域計画」に基づき、史跡や民俗芸能、歴史的建造物など地域で育まれた豊かな歴史文化の価値や魅力を積極的に発信するとともに、地域の歴史文化に触れ、親しんでもらえる機会を創出します。

成果指標(単位)	文化財の保存・活用啓発活動の定員に対する応募者数(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	88.6	92.4	96.2	100
実績値	84.8	89.3			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度の成果指標の実績値が目標値を超えて89.3%に達することが出来た。これは発掘調査成果の現地見学会や史跡草津宿本陣の魅力を活かした衣装体験やフォトレッスンなどのイベントを開催した事などが影響している。一方で、他の多くの事業についても、当初の見込み通りの応募者数で推移しており、本市の文化財の啓発事業に多くの市民の関心があったものとする。

施策の達成度評価
史跡草津宿本陣は令和6年度に耐震工事を行ったため10ヶ月にわたり休館したが、令和7年4月から一般公開を再開し、加えて「歴史文化活用プロジェクトチーム提案」に基づいた新たな事業を実施することができた。「草津市文化財保存活用地域計画」に基づく多様な普及啓発事業についても、年間を通じ継続的に実施できたため、市民の歴史・文化への関心度が上がった。また、「(仮称)草津市歴史資料館整備基本計画」の策定や資料館の用地取得に向けた取り組みなど、着実に事業を進めることができた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標「No.46 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」の偏差値は80.0と数値が高く、次世代を担うこども・若者へ、より良い環境・文化を残していきたいといった市民意識の高さを示し、ウェルビーイングの観点からも、本施策「歴史文化の活用の推進」の目的は大きく重なり合う因子であることから、今後も引き続き、市民にとって大切な歴史資産を後世へ引き継げる事業展開を図りたい。また、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」の偏差値・実数は平均的数値を示し、前年度比較において数値が上昇しており、「史跡草津宿本陣」「草津宿街道交流館」が誰にとっても親しみやすく、楽しめる学習の場として利用される事業運営を図りたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
文化財を活かしたまちづくり意識や市民のふるさと意識の向上を図る動機付け事業となりうる「草津市の歴史・文化や身近な文化財」について、その魅力を地域・学校・関連団体等と連携しながら、発信・学習できる普及啓発事業の企画・実践を図りたい。また、「(仮称)草津市歴史資料館」の整備に向けて、策定中の「整備基本計画」に基づき設計等の事業の進捗を図りたい。
令和9年度の取組は、高い水準にある地域幸福度(Well-Being)指標「No.46 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」の偏差値・実数値が維持または上昇つながるよう、市民が身近にある「歴史的資産」の魅力と大切を感じられる「文化財普及啓発事業」を実施する。また、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」の偏差値・実数値の向上を図るため、市民が歴史文化について親しみをもち、深く理解・学習する場であることを念頭に、(仮称)歴史資料館整備事業を推進するとともに、「史跡草津宿本陣」・「草津宿街道交流館」の管理運営事業の充実を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
文化財普及啓発事業	歴史文化財課	○	イベントや講座・ワークショップの開催など文化財に関する普及啓発事業に務めた結果、文化財の活用を図ることができた。
(仮称)歴史資料館整備事業	歴史文化財課	○	「(仮称)草津市歴史資料館整備基本計画」の策定を進めた結果、(仮称)草津市歴史資料館の開設に向けた取り組みを推進することができた。
史跡草津宿本陣管理事業	草津宿街道交流館	○	歴史文化活用プロジェクトで提案のあった「こども本陣クラブ(ほんじん博士に改称)」、「マイクラ本陣」などの各種事業を関係団体と連携し実施した結果、来館者の増加につなげることができた。
草津宿街道交流館運営事業	草津宿街道交流館	○	SNS等のメディアを活用し交流館事業等の情報発信件数を前年より増加させた結果、来館者の増加につなげることができた。

■ 施策評価シート 5-01-②

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2					
		偏差値	55.2	57.9					
46	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい	実数	4.1	4.1					
		偏差値	80.0	80.0					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		33							

■施策評価シート

5-02-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	歴史・文化
基本方針	文化・芸術の振興	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	5-02-①	施策名	文化・芸術活動の推進

施策の概要

文化振興条例および計画に基づいて、多様な主体と連携し、地域の文化的資産を活用しながら各文化振興施策を展開し、市民の日々の創作活動の奨励と様々な発表・展示・鑑賞の機会と場の提供によって、より一層の文化・芸術の振興を図ります。
また、文化施設の適切な維持管理と活用を行います。

成果指標(単位)	文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	26.5	27	28	28.7
実績値	26.3	26.7			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合は前年度に比べ、0.4%増加し目標値を達成することができた。草津市美術展覧会やアートフェスタくさつの実施に加えて、新たに初心者向けの文化・芸術の連続講座を実施し、文化芸術に触れる機会を増やすなど、文化芸術の振興に向けた取組が市民の評価に表れたものとする。

施策の達成度評価

草津市美術展覧会、アートフェスタくさつ、文化芸術担い手育成事業、草津キッズシネマ塾など、多様な事業を展開した結果、市民の文化・芸術の振興に一定の効果が見られた。今後、これらの事業がより効果的なものとなるよう、地元との連携をより強化した取組、地域の魅力の再発見につながるような取組を展開するなど、さらに工夫を凝らした事業を実施していく。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.45 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」があり、いずれも偏差値は50を上回る結果であった。
本市では美術展覧会や文化芸術担い手育成事業などの事業を実施することにより、文化芸術の創作・発表の場や、体験の場を提供しており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの向上の観点からも、引き続き、文化・芸術活動の発表と文化を通じた出会いや交流の場の提供に取り組んでいく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでの事業を円滑に実施するとともに、誰でも気軽に楽しくアートを体感できる講座の地元での展開、文化施設の適切な維持管理を行うことなどにより、文化・芸術活動の体験の場、文化・芸術活動の発表と文化を通じた出会いや交流の場を拡充させ、さらなる市民の文化・芸術の振興を図る。

文化・芸術の創作・発表の場や、体験の場を提供する取組は、「No.45 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資すると考えている。
また、文化施設の適切な維持管理の取組は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資すると考えている。
これらの指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの向上の観点からも、引き続き、文化振興施策の推進と文化施設の適切な維持管理に取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
市美術展覧会開催事業	生涯学習課	○	市民に作品発表・芸術鑑賞の機会を提供するとともに、新たに実行委員によるワークショップの実施を通じて、芸術体験の場を提供することできたため。
市民文化芸術活動支援事業	生涯学習課	○	アートフェスタくさつや草津キッズシネマ塾などに加え、新たに文化芸術担い手育成事業等の事業実施により、文化芸術に触れる機会を充実させることができたため。
俳句のまちづくり事業	生涯学習課	○	青少年俳句大会、ふるさと草津俳句会、宗鑑忌俳句大会、俳句入門講座の開催により、市民が俳句に親しむ多くの機会を提供できたため。
文化ホール管理運営事業	生涯学習課	○	文化活動の拠点施設として、計画的な修繕の実施など、適切な施設管理を行うとともに、令和7年度はクレアホール10周年事業としてコンサートを開催するなど、積極的な文化事業の展開が図れたため。

■ 施策評価シート 5-02-①

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
45	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	実数	2.8	2.9			
		偏差値	51.3	53.2			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		104							